

理学同窓会寄付講義(第1回)

愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所
発生障害学部 主任研究員

川口 禎晴 先生

(平成元年3月理学部生物学科卒業;
平成3年3月理学研究科生物学専攻修了)

『産・官・学、研究者として求められるもの』

講演概要:

研究の環境や立場が異なると、同じ研究テーマであってもその方向性や研究期間や求められる結果が違ってきます。よく言われているのが、企業においては利益、官庁においては社会的貢献、大学においては科学的貢献とされています。しかしながら、大学が独法化されたり企業においても社会的貢献が問われつつある中では、それぞれの立場を超えた研究姿勢も求められていると考えます。今回は研究者として求められるものについて、私自身が企業・大学・官庁それぞれの立場で研究活動を経験し、感じたことをもとにお話したいと思います。

日時: 6月3日(木) 午後5時00分～6時30分
場所: 理学部B203室

連絡先: 理学部生物学教室
塩尻 信義
電話 238-4780(内線4780)
メール sbnshio@ipc.shizuoka.ac.jp